

「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会 市民学習会

ヤングケアラーの現実と社会の壁 そして歯科医療

日 時 11 月 3 日 (月・祝) 14:00~16:30 (開場 13:30)

会 場 兵庫県保険医協会 5F 会議室

講 師 大阪公立大学 大学院現代システム科学研究科
現代システム科学専攻 教授

濱島 淑恵 先生



歯科分野の話題提供

『歯科酷書』から考える“人権としての歯科医療”

富澤 洪基氏 (尼崎医療生活協同組合生協歯科/当連絡会共同代表)

参加費 無 料 (どなたでもご参加いただけます)

定 員 80 人 (先着順・事前申込制)

今回は、祖父母や病気の親兄弟など、家族の介護を担う子どもたち：ヤングケアラーに対し、この問題が社会的に共有される前から研究を重ねてこられた濱島先生に、ヤングケアラーが抱える困難とそれを規定する要因の分析、解決のための制度や施策の在り方についてお話しいただきます。

また歯科医療現場からの報告として、大勢としては虫歯が減っているものの、貧困家庭の児童・生徒を中心に「口腔崩壊」が散見される現状を全日本民医連『歯科酷書』からご紹介し、格差拡大と医療供給について、意見交換ができれば…とも考えています。ご参加をお待ちしております。

終了後、歯の健康相談会あり(無料)

主 催 「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会

共 催 兵庫県保険医協会、兵庫県民主医療機関連合会

協 賛 (要請中) 兵庫県歯科医師会/兵庫県歯科技工士会/
兵庫県歯科衛生士会

後 援 (要請中) 兵庫県/神戸市/神戸新聞社/朝日新聞神戸総局/読売新聞神戸総局/毎日新聞神戸支局/産経新聞社/サンテレビジョン/ラジオ関西

濱島 淑恵(はまし・よしえ)先生 ご略歴

1993 年、日本女子大学人間社会学部社会福祉学科卒業、99 年、同大大学院人間社会研究科博士課程後期満期退学。2017 年、金沢大学で博士(学術)を取得。大阪歯科大学医療保健学部教授などを経て、2024 年より現職。専門は高齢社会における介護、家族、ワークライフバランスなど。

2016 年にヤングケアラーの存在に気づき、日本では初となる実態調査を大阪府の高校で実施。2020 年度、2021 年度に実施された厚生労働省によるヤングケアラーに関する全国調査に研究班として関わった。2020 年にはヤングケアラーたちの集い「ふうせんの会」を有志とともに立ち上げ、現在も活動中。現在、神戸市こども・若者ケアラー支援アドバイザー、大阪市ヤングケアラーPT アドバイザー等を務めている。

著書に『子ども介護者 ヤングケアラーの現実と社会の壁』(角川新書)、『家族介護者の生活保障・実態分析と政策的アプローチ』(旬報社)。『あさイチ』、『クローズアップ現代』などメディア出演多数。

【問い合わせ先】 兵庫県保険医協会事務局 吉永

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31

神戸フコク生命海岸通ビル5階

TEL. 078-393-1809 FAX. 078-393-1820

ysng@doc-net.or.jp →会場地図は裏面参照

URL または2次元コードから前日までにご登録ください <https://x.gd/g3cja>



【来場による参加の申し込み】 FAX078-393-1820 または ysng@doc-net.or.jp まで

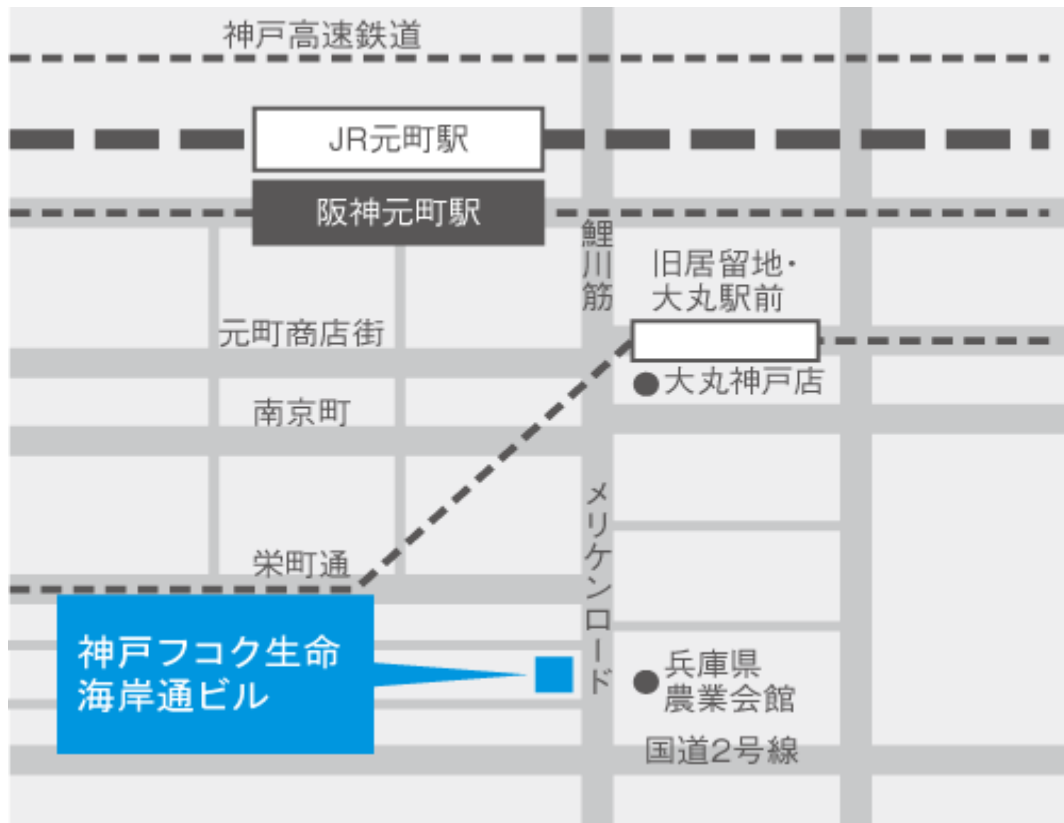
「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会 市民学習会 (11/3) に参加します

() 人 所属など

お名前



【会 場 地 図】



「保険でより良い歯科医療」兵庫県連絡会のご紹介（設立趣旨より）

おいしく、楽しく食えることは人生を豊かにするとともに健康の基本です。しっかりと噛むことで全身の健康状態を高めます。とくに今日の歯科医療は、糖尿病の管理をはじめ、致命的な疾患にいたる高血圧症や動脈硬化、歯性感染症、誤嚥性肺炎、認知症の予防など、全身の健康にとって不可欠な口腔機能を維持させる上で、ますます重要となっています。お口の健康を保障するためには保険で安心して歯科医療を受けられることが望まれます。

また、成人の8割は歯周病といわれ、通院困難な高齢者・障害者への歯科訪問診療など、国民の歯科医療のニーズも高まってきています。

こうしたニーズに応えるよう歯科医療従事者は、「いつでも、どこでも、お金の心配なしに安心して医療を受けられる」ことを理念とした「国民皆保険制度」のもとで、憲法 25 条に基づく社会保障としての歯科医療に携わっています。

しかしながら、患者さんにとって必要な技術が保険で扱えない、従事者の労働力に見合うように保険点数が引きあがらない、患者さんも窓口負担が高くて受診を躊躇するなど、長く続く政府の「低医療費政策」により歯科医療は疲弊しています。高齢化が急速に進み、医療技の進歩も著しいにもかかわらず、この数十年間、保険点数は据え置かれ、新しい技術が保険で認められていないのです。

政府が歯科医療費を増やさないため、歯科医療は危機に瀕しています。歯科技工士、歯科衛生士を養成する学校は定員割れ・廃校が続いています。歯科大学・歯学部も近年は志願者減・定員割れになるなど、お口の健康を守る歯科従事者の担い手がなくなるという深刻な事態になりかねません。

わたしたちは歯科医療の危機を乗り越え、国民の口腔の健康を守るために、歯科医療関係者と患者・住民との協同のネットワークとして、「保険でより良い歯科医療を求める兵庫県連絡会」を立ち上げ、歯科医療の充実とその大切さを国民各層に呼びかけていきます。